

茨城県立東海高校の先生による「家読(うちどく)おすすめ本」

(令和6年度版) 令和7年3月作成・東海村立図書館編



【高校生向け】

NO.	書名	作者	出版社	本の紹介	請求記号 (縦サイズ)
1	モモ いわみしょうねんぶんこ (岩波少年文庫)	ミヒヤエル・エンデ/作 大島かおり/訳	岩波書店	ひとびと いそが よゆう 人々が忙しく、余裕なく、せかせかと暮らしている。それは灰色の男たちの 戦略にはまっているから。少女モモが彼らに奪われた時間を取り戻し、豊かな生活を取り戻す物語。余裕がないなあと思う時、灰色の男たちのことを思い出します。時間の大切さと、その大切な時間を何に使うべきかを考えさせてくれるお話です。	【児童童】 943エンデ (18cm)
2	トルコ怪獣記	高野秀行/著	河出書房新社	ワン湖で目撃された「ジャナワール」UMA (Unidentified Mysterious Animal)を追う話である。誰も行かないところへ行き、誰もやらないことをし、誰も書かない本を書くをモットーにしている作者のバイタリティーを是非味わってほしい。	【一般】 292タ (15cm)
3	すばらしい医学 ～あなたの体の謎に迫る知的冒険～	山本健人/著	ダイヤモンド社	現役外科医が語る人体と医学の話です。	【一般】 490ヤ (19cm)
4	すばらしい人体 ～あなたの体をめぐる知的冒険～	山本健人/著	ダイヤモンド社	人体の神秘についてわかりやすい記述でかかれています。	【一般】 490ヤ (19cm)
5	科学の力で元気になる 38のコツ	堀田秀吾/著	アスコム	この本はタイトルの通り、科学的に元気になる方法がいくつか紹介されています。色々な事からストレスをうける現代社会において、自分自身を鼓舞する方法を知っておくことは、非常に有効だと思います。1つでも方法を知っているだけで今後の人生に役立つはずで、肩の力を抜いてご覧ください。	【一般】 498ホ (19cm)
6	なぜ、おかしの名前は パピペポが多いのか？ ～言語学者、小学生の質問 に本気で答える～	川原繁人/著	ディスカヴァー・ トゥエンティワン	小学生の疑問に答える形式で、誰もが気づかない言葉の不思議に答えている言語学者の著作である。子どもの鋭い感性に感心しつつ、自分ならどう答えるか?と考えながら読み進める作品である。	【一般】 801カ (19cm)
7	英検 出る順パス単	旺文社/編	旺文社	今は資格の時代。普通科の高校生は英検くらい持っていないと、勉強を頑張った証がない。このシリーズは単語を日本語に訳すショートクイズとしてざっと読むのに適している。見やすい、コンパクトでどこにでも持ち運びができる。スマートフォンと違って電池切れもない。繰り返しページをめくって語彙を増やそう。	【一般】 830エ (19cm)

【高校生向け】

NO.	書名	作者	出版社	本の紹介	請求記号 (縦サイズ)
8	言語学バーリ・トゥード Round I ～ AIは「絶対に押すなよ」を理解できるか～	川添愛/著	東京大学出版会	プロレスファンの言語学者が、身近な言葉を独自の視点で取り上げるエッセイである。言語学者の著作ということで、読む前は「難しいのだろうな」と思っていたが、抱腹絶倒。言葉に興味があれば、誰にでも楽しめる本である。	【一般】 830カ (19cm)
9	春や春	森谷明子/著	光文社	女子高が舞台。俳句甲子園に出場したいと思う一人の生徒が俳句同好会を作り、出場するための5人のメンバーを募りながら出場するまでの物語。一人一人が生き生きと描かれていて、読み始めると一気に読めます。俳句を身近に、そして日本語の魅力、言葉の力を強く感じる本です。	【一般】 TFモリヤ (19cm)
10	大洗おもてなし会議 (ミーティング) ～四十七位の港町にて～	矢御あやせ/著	マイナビ出版	茨城県大洗が舞台。一人の女性が町を活気づけるために奮闘する物語です。身近な土地が舞台になっているので、興味を持ってもらえると思い、紹介しました。文字に触れる機会を多く持ってほしいです。	【一般】 LFヤオ (15cm)
11	spring (スプリング)	恩田陸/著	筑摩書房	恩田陸の最新長編小説『spring』、『蜜蜂と遠雷』から深化を極めたバレエ小説。この小説は眩い煌めきを放つ登場人物の生き生きとした姿や、芸術の世界に生きる天才舞踏家・振付家である主人公萬春(よろずはる)の人間の成長を鮮烈な筆致で、みごとに描写し切った気高く荘厳な作品です。バレエ芸術に対する深い造詣と慈愛を感じさせる、恩田陸の新たな長編小説の世界にぜひ触れてみてください。	【一般】 Fオンダ (20cm)
12	燃えよ剣	司馬遼太郎/著	新潮社	高校生の頃に読んでハマっていた小説。土方歳三が田舎の悪ガキから新選組の副長となって函館で最期を遂げるまでの、常に戦い続けた一生を描く。もう彼の年齢を追い越してしまったけれど、時間をおくとまた読みたくなる本です。	【一般】 Fシバ1・2 (16cm)
13	私とは何か ～「個人」から「分人」へ～	平野啓一郎/著	講談社	高校の時の友達という時の「自分」、小・中学校の時の友達という「自分」、家族という時の「自分」、バイト先の人という時の「自分」、ネットの中の「自分」…。会う人や場所によって出てくる「自分」が違うことで悩んでいる人に是非読んでほしい一冊です。	【一般】 914ヒラノ (18cm)
14	おそろし ～三島屋変調百物語事始～	宮部みゆき/著	KADOKAWA	冬、暖かい部屋で宮部みゆきの江戸怪談話を読んでみませんか。時は江戸時代、神田の袋物屋・三島屋で語られる不思議な百物語。語り手一人に聞き手も一人。話はけって外にはもらさない。せつなくて怖いお話が満載!このシリーズは「よって件のごとし 三島屋変調百物語八之続」まであります。	【一般】 Fミヤベ (20cm)
15	夜と霧	ヴィクトール・E・フランクル/著 池田香代子/訳	みすず書房	著者は、第二次世界大戦中にナチスの強制収容所に収容され、生還した心理学者です。著者は言います、「人間とは、ガス室を発明した存在だ。しかし同時に、ガス室に入っても毅然として祈りのことばを口にする存在でもあるのだ」。人間とは何か、考えさせられる一冊です。	【一般】 946フラン (20cm)